



眼下に広がる九十九島を見下ろしながら、弓張岳展望台へと砂利道を進む市営の貸切観光バス(昭和30年代)

広報
No.644

させぼ



広報させぼ 編集長
「キューちゃん」

特集

市営バス 走り続けて77年

2 ~ 5 p

今月の主な内容

| | |
|--------------------|-----------|
| 日中美術交流展、市職員採用試験など | 6 ~ 7 p |
| イベント、施設だより | 8 ~ 11 p |
| 市民の広場 | 12 ~ 13 p |
| 歴史散歩、カレンダー、テレホンガイド | 22 ~ 23 p |
| 九じろうの取材日記 | 24 p |



PUBLIC RELATIONS SASEBO



広報 させぼ

平成16年7月1日発行

佐世保市役所企画調整部秘書課広報係 TEL 0956-24-1111 FAX 25-2184
〒857-8585(市役所専用) 長崎県佐世保市八幡町1-10 http://www.city.sasebo.nagasaki.jp 印刷/サン印刷株式会社

九じろうの 取材日記

市立図書館
「おはなし会」



市立図書館・児童室内のおはなしのへやでは、毎週土曜日の14時30分から15時まで、図書館職員による「おはなし会」を開催しています。
取材に訪れた5月29日は、絵本の読み聞かせが行われ、子どもと大人を合わせて20人を超える人が参加しました。



子どもたちの夢を膨らませる大きな絵本の世界
この日読まれた4冊の絵本の中で、子どもたちの人気を集めたのは、通常の2倍ほどの大きさがある大型絵本の「にゃーごと」「びよん」でした。
「にゃーごと」は、先生の注意を聞かずに遊びに出掛けた子ネズミと見るからに恐ろしいネコが繰り広げるハラハラドキドキの物語。職員が絵本を開くと、まず、そ



の大きく迫力のある絵が子どもたちの目を引き付けます。話が進むにつれて、体を前のめりにする子どもも出てきて、すっかり絵本の世界に引き込まれているようでした。

この日参加した、日下部亜衣さん(7歳)が一番気に入った絵本は、カエルや犬など、いろいろな生き物が飛び跳ねる様子が描かれた「びよん」。縦開きのページに勢いよく跳ぶ生き物の姿が生生ききと描かれた絵と、「びよん」と跳び上がる音が、子どもたちの目と耳を楽しませました。
本が大好きという大坪万莉さん(5歳)は、おはなし会にもよく参加するそう。母親の大坪由子さんは、「娘が生後2カ月のころから、家でも本の読み聞かせをしています。本は心の栄養になります」と語ってくれました。

編集長から「一言」

ことし6月の県高校総体で、バドミントンや弓道の競技会場となった本市を、県内各地の高校生が応援に訪れました。バスに乗り合わせた市民が「どこの高校?」「どこまで行くの?」「頑張ってるね」などと、言葉を掛ける姿も見られ、おもしろい気分を間近に見ることができました。(A)

おはなし会では、紙芝居やストーリーテリング(素話)もしています。また、児童室内おはなしのへやでは、毎週土曜日の15時15分から45分まで、週替わりでおりがみや紙芝居などを行う「おたのしみ会」も開催しています。
お尋ね 市立図書館
(☎ 25618)



図書館には、ここで紹介した「にゃーごと」や「びよん」のほかにも30冊以上の大型絵本があり、貸し出しもしています。



この「広報させぼ」は古紙配合率100%の再生紙と大豆油インクを使用しています。